



News release

2016年8月10日(水)

VA-1842 HDMI600MHz/HDCP2.2 対応プロトコルアナライザ “HDCP 2.2 のコンプライアンステスト (CTS) の試験機として認証” 日本初の HDMI2.0 フルスペック対応の HDCP 試験機

デジタルビデオ機器の専門メーカーアストロデザイン株式会社（本社：東京都大田区 鈴木茂昭社長）は、当社製プロトコルアナライザ「VA-1842」が、4K放送の著作権保護などで使われているHDCP 2.2のコンプライアンステスト(CTS)の試験機としてDigital Content Protection, LLCより認証されたことを発表いたします。

これにより、上記製品を使用してHDCP 2.2の機能に準拠した信号発生及び信号解析、ロゴ認証試験を行うことが可能となり、HDMI2.0で定義されている4K/60pフルスペックの映像コンテンツの保護に関する試験にも対応可能で、日本初のHDMI2.0フルスペック対応のHDCP試験機となります。

本機1台で、ソース機器（BDレコーダ、チューナ、STB）、リピータ機器（AVアンプ、サウンドバー）、シンク機器（TV、PJ等の表示器）と言われる製品区分全ての機器に対して、コンプライアンステスト試験を実施することが可能です。

当社は、HDMI 2.0を策定するHDMI Forumに参画し、規格策定の段階から技術協力をさせて頂いており、今後も次世代映像規格にいち早く対応した製品開発を進めてまいります。

VA-1842 HDMI600MHz/HDCP2.2 対応プロトコルアナライザ

価格：¥3,500,000-



<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/product/va-1842>

※製品の機能の詳細、コンプライアンステスト用のファームウェアのアップデートの詳細に関しましては営業担当または下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

DCPについて

Digital Content Protection (DCP) , LLC は、コンテンツの不正コピーを防止する著作権保護技術である High-bandwidth Digital Content Protection (HDCP) のライセンスを管理している団体です。現在ハリウッドを中心としたコンテンツプロバイダは、4K 映像などのプレミアムコンテンツに対応するデジタル機器に対して、HDCP2.2 への対応を必須としており、4K ブルーレイディスクの再生機や 4K テレビにその技術が採用されております。国内の 4K 放送に関しても、チューナとテレビ間の映像信号の送受信に HDMI を採用し、コンテンツ保護機能は、HDCP2.2 の採用が必須となりました。

<http://www.digital-cp.com/compliance>

【この製品に関するお問い合わせ先】

〒145-0066 東京都大田区南雪谷 1-5-2

アストロデザイン株式会社

営業部

Tel 03-5734-6301 Fax 03-5734-6104